

窓友

そうゆう

— 大阪教育大学 —

同窓会天遊会会報

2022.10

Vol.

7

OSAKA KYOIKU UNIVERSITY
ALUMNI ASSOCIATION

教員養成
フラッグシップ大学
始動!!

P.4

Instagram



#大阪教育大学 #五月祭

Contents

02 Greeting

04 大学の様子

06 クラブ紹介

07 卒業生の活動

08 同窓会の様子

09 天遊会会員特典

10 令和3年度事業・決算報告/役員・顧問名簿

11 名簿管理システム

12 第7回ホームカミングデー2022のお知らせ



GREETING



学長
岡本 幾子

「窓友」への思い

令和4年度より学長として大阪教育大学の運営を担うことになりました。よろしくお願い申し上げます。

1872年(明治5年)の学制公布から150年が経過し、日本の教育は今後に向けて重要な転機を迎えていると考えられます。国際情勢に関しては、2020年(令和2年)当初から、新型コロナウイルス感染症拡大による地球規模の混乱が続き、2022年、ウクライナにおける戦争状態の発生に伴う多国間対立が顕著になり、それが、経済上の混乱にも繋がって、世界に大きな緊張を生み出す結果になっていることは、皆様ご存知の通りです。こうした変化は教育の領域においても影響をもたらしています。現在、本学でも戦火のウクライナからポーランドへ避難した学生の一人が、日本語留学生として、他国からの留学生と共に学んでいることから窺い知ることが出来ます。

150年前の学制公布から間もない1874年(明治7年)に難波別院内で「教員伝習所」を設立してから、「大阪府師範学校」、「大阪府尋常師範学校」という形態を経て、公立の「大阪府天王寺師範学校」、全国初の私費制から給費制へ移行した「大阪府池田師範学校」、さらに、「大阪府女子師範学校」の三師範学校体制へと、大阪における教員養成の体制は移行し、天王寺、池田、平野を拠点とした同窓会組織の友松会、瓊池会、常磐会が大阪の教員養成と教育界を長きにわたって支援してこられました。しかし、地域を超え、場合によっては国をも超える連携が必要とされる時代の変化を受けて、2015年(平成27年)に、これまでの大阪教育大学の同

窓組織を天遊会の名のもとに一体化し、翌年、構成員の情報共有のための同窓会天遊会会報「窓友」第1号を発行しております。歴史と伝統を実質的に担っている天遊会の皆様の献身的な活動が、大阪教育大学の教育研究活動に、今後も力を与えて下さることを願っております。

本学は2022年(令和4年)3月9日に文部科学大臣から「教員養成フラッグシップ大学」の指定を受けました。教員養成フラッグシップ大学には、教育職員免許法施行規則等に定める一部の科目に代えて新たな科目を開設し、免許を取得することができる特例措置が適用されます。新しいプログラムを研究・開発するなどの先導的・革新的な取組を行うとともに、取組から得られた知見を他の教員養成大学や教職課程を有する大学に展開し、我が国の教員養成の在り方を変革していく牽引役となる大学として期待されています。

また、大阪市教育委員会と連携して、天王寺キャンパスに未来の教育内容を革新する、大阪アドバンス・ラーニング・センター(仮称)を建築します(令和6年竣工予定)。現職教員向けの研修施設である大阪市教育センターとしての機能、本学の教育研究機能、企業やNPO等の専門的知識・技術機能などがシームレスに連携する共創環境で、養成・採用・研修の一体的な改革等の組織的な共同研究に取り組み、成果の社会実装や全国への発信、シンクタンク機能の確立を目指しています。

皆様方におかれましては、これまでと変わらないご支援をお願い申し上げます。





天遊会会長

島内 武

昭和43年
教員養成・小・生物 卒

同窓の絆に思う

この2年間、対面での様々な会を開くことができず、苦慮していました。まだまだ安心できる状況ではありませんが、以前の日常に近づくことを願っています。

コロナ禍で、天遊会の活動の縮小を余儀なくされましたが、岡本学長先生はじめ、大学の同窓生連携室関係の方々のおかげで、学生支援を中心に、できる限りの事業を進めてまいりました。

思えば、この2年間、様々な生活様式の変化がありました。社会のありようの転換点だったかも知れません。

教育では、小学校から大学まで、授業・講義が非対面のオンラインで行われるなど、今後の教育方法のあり方の転換点を思わせる事態がありました。

そのような中で、学生のみなさんは、講義についての戸惑いが続くとともに、クラブ活動等が十分にできず、コロナ禍を恨めしく思ったことだと思います。

同窓会関係でも、クラブや研究室、専攻、教員関連

等々の会を開くことができず、私たちは対面での旧交を温めることから遠ざかっていました。

しかし、対面での会が普通に行われる日を迎えた折には、そのコミュニケーションの場を大切にしたいと思います。そして、そのような人間関係を紡ぐ様々な場で、同窓の絆の再確認ができることを待ちわびています。

大阪教育大学は、その前身から数え、間もなく創基150年を迎えようとしています。その長い年月の間にあった幾重にも重なり合った同窓の絆を思うと、身震いするような感慨を覚えます。



理事

片桐 昌直

感謝とお願い

学生支援・入試・広報担当理事・副学長をしております片桐です。この2年間は、新型コロナウイルスの流行による学生生活への影響が大変大きい2年間でした。キャンパスにおける種々の感染対策の実施や授業オンライン化、それに伴っての学生間等の交流の減少、さらには家計急変やアルバイト減少による経済的困窮学生の増加等、これまでの学生支援の様相が一変致しました。しかしながら、天遊会からの多額の資金を始めとするご支援により、何とか乗り切ることが出来ました。本当に感謝致しております。新型コロナウイルスは、現在も残念ながら予断を許さない状況です。これからも引き続き学生への様々な支援へのご協力をお願い出来れば、と思っております。

また、今後18歳人口の減少に伴う受験者数の減少対策やより教員志望度の高い入学者の確保等が課題となっており、この課題に対しても、大学教員のみ

ならず、卒業生の皆様のご支援・ご協力が必要であると考えております。つまり、教職のすばらしさや本学の特性・メリットの社会的認知につきましては、一般的な広報のみならず、関係者の口コミ等の影響力の大きさを感じているところです。是非、この点に付きましてもご協力のほど、よろしくお願いいたします。そのために今後、フラッグシップ大学事業等の教育改革の進捗状況や教育研究の進展についての情報を、卒業の皆様へ種々の媒体を用い、お伝えして行きたいと思っております。

是非、本学の改革にご期待・ご注目頂くとともに、引き続き、ご指導も含めご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

以上、簡単ではありますが、ご挨拶とさせていただきます。

大学の様子

主な取り組み内容は次のようなものです。

- 本学は、これまで、実践力を備えた教員や教育支援人材の養成、教育のグローバル化などに対応するべく、抜本的な大学改革や、地元教育委員会や産業界との連携強化を推進してきました。令和6年に完成予定の産官学連携による大阪アドバンスト・ラーニング・センターには多様な人材資源を呼び込み、このセンターを拠点に、教員養成の高度化に全学を挙げて取り組み、日本の将来をリードしていく多くの教育人材を育て、この大阪から「令和の日本型学校教育」を牽引していきます。

先導的・革新的な教員養成プログラム・教職科目の研究・開発

学部におけるダイバーシティ教育をベースとしたカリキュラム開発
 ダイバーシティ教育をベースとした、4つのテーマ領域と省察科目で構成される先導的・革新的な教員養成カリキュラムの開発

OALeCを活用した教職実践教材「バーチャルスクール」等の開発
 OALeCに参画する地元教育委員会、企業との共同により、クラウド上でバーチャルな学校を体験・経験できる教職実践教材「バーチャルスクール」を開発

教職大学院共通5領域必要単位数の弾力措置の活用
 【新たな領域】ダイバーシティ理解、多職種協働による組織マネジメント、教育DX・STEAM実践、教育グローバル人材育成（2単位）

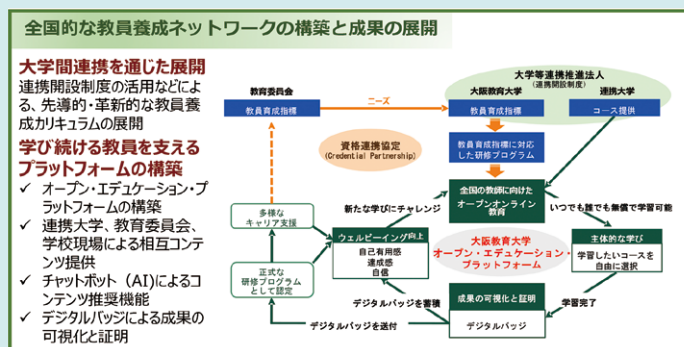
教育学部と連合教職大学院の一体的カリキュラム開発 入口から出口までのキャリアパス

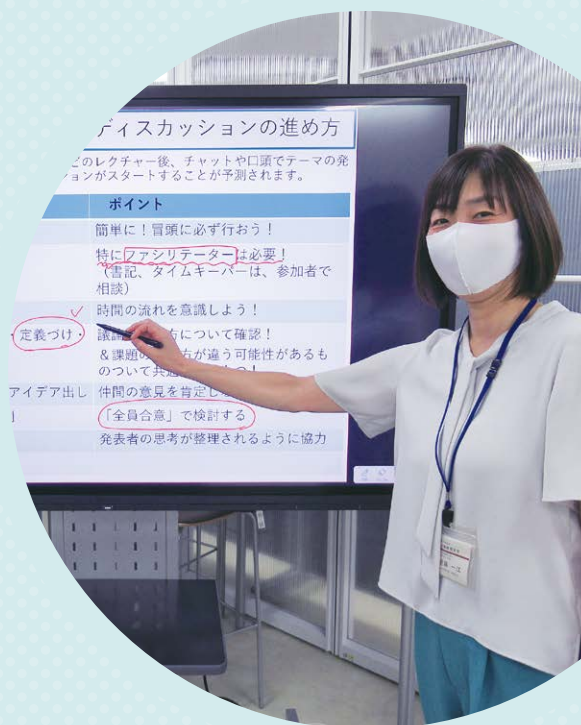
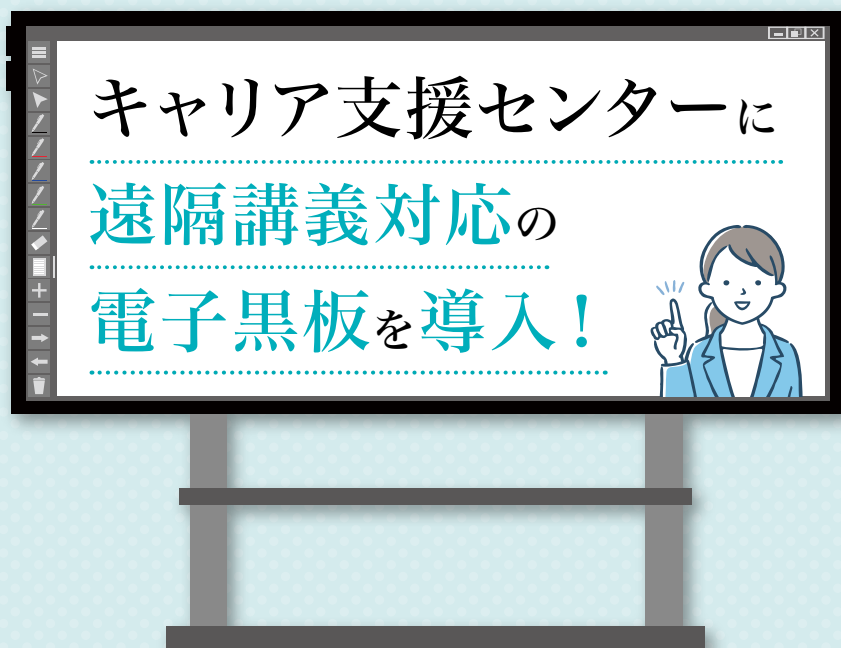
- ✓ 教育実践力コースに「6年一貫教員養成プログラム」を導入
- ✓ 養成・採用・研修を貫く「附属学校教員育成コース（仮称）」を設置
 ⇒ 地元教育委員会との連携による養成・採用を接続したコースを展開

教員育成指標と運動した教員研修プログラム開発 コンピテンシーベース 教員研修
 連合教職大学院の授業科目群と統合した仕組を構築

新たな形の大学教員FDを提案 学習観・授業観の転換のための教育研究手法

- ✓ 学生の学び合いをファシリテーションする力量を形成するFD
- ✓ 座学を中心とする知識伝達型から、実践経験型のFDへ





この度キャリア支援センターに大阪教育大学同窓会天遊会よりご支援いただき、遠隔会議対応の電子黒板および、動画配信用のパソコンを導入いたしました。

この遠隔会議対応の電子黒板は限られた数のアドバイザーの先生を効率的に活用するために、柏原キャンパスおよび天王寺キャンパスをオンラインで接続し、同時に学生に指導することが可能となります。

今回はこの電子黒板を活用し、柏原キャンパス、天王寺キャンパスで多くの自治体や企業が採用試験で実施しているグループディスカッションの対策を遠隔で実施いたしました。

今までは実施にあたり、対面の場合は柏原キャンパスに集合してもらったり、オンラインでの実施の際は回線やケーブル等の複雑な準備が必要だったり、複数の学生が同時に発言したとき誰が発言したかわかりにくく指導も難しいという問題がありました。

今回当日、参加した学生からは「柏原キャンパスまで行くのが時間的に難しく、天王寺で指導していただけて助かった」「音声も聞き取りやすくしっかりとディスカッションできてよかった」等の声をいただきました。また、実際指導したアドバイザーの先生からは、「天王寺キャンパスでもニーズがあることはわかっていましたが、今まで実施することが難しいと思っていた。音声、画像とも明瞭でスムーズに指導できて本当に良かった。」と振り返っていました。

今後キャリア支援センターでは、教員、企業就職に関わらず、今回のシステムを活用し両キャンパス間で積極的に連携を行い、社会に対して必要とされる人材の輩出に努めていきたいと考えています。





クラブ紹介

柔道部

主将 4回生 山口 雅矢



こんにちは。大阪教育大学体育会柔道部です。
現在私たちは、男子部員12名、女子部員3名、計15名で活動しています。大阪教育大学柔道部は人数が多い部活ではありません。しかし、少人数だからこそ、先輩、後輩関係なく意見を出し合ったり、声を出して盛りあげ、1回1回の練習の質にこだわって活動しています。その成果もあり、現在2年連続で全日本学生柔道優勝大会に出場することができました。

私たち柔道部は強豪校出身の人だけでなく、大学から本格的に柔道をはじめたという人までさまざまなレベルの部員が所属しています。そういった中で、私たちが大切にしていることは、「技術の交換」ということです。部員たちで意見を出し合う中で技術を人に伝えるということは、その伝えている人もスキルアップできるのではないかと考えているからです。

また私たちは、大学から社会人まで数々の結果を残してこられた石川美久先生にご指導頂いています。先生は、自分の経験や体験を部員に押し付けて、練習させるのではなく、部員中心で考えを出し、その考えに工夫を加えて的確なアドバイスしてくれます。また、練習中も部員がやる気になるような声かけや、的確な技のアドバイスをしてくれるため、とても心強く、毎日部活に励むことができます。

私たちは昨年、全日本学生柔道優勝大会に出場し、その年の、関東学生1位になった山梨学院と対戦しましたが、3-1という僅差で敗れてしまいました。やはり、全国の強豪校に比べると、練習量や環境では劣っているところがあります。しかし、私たちは大阪教育大学にしかない環境、大阪教育大学の柔道部にしかない良いところを活かし今年の全日本学生柔道優勝大会ではしっかりと1回戦を突破し、関東や東京の強豪大学に勝つということを目指しています。



私たちはそのために、さまざまなレベルの生徒がいるからこそ、基礎練習を多くに取り組み、柔道場が使えない日には、ランニングトレーニングや体幹トレーニング、ウエイトトレーニングなどの体力強化にも力をいれています。また、練習後にその日の練習でできなかったことの反省を先輩、後輩関係なく意見を出し合い、次の日の反復練習に活かす、関西の強豪校に出稽古に行く、このようなことを心がけて練習に励んでいます。

授業後の部活だけではなく、朝練がある日もあり、決して楽な部活ではないと思いますが、全員がチームの目標、個人の目標に向かって同じ方向を向いて取り組んでいるため、かなり意識の高いチームに成長していていると思います。練習はきついですが、練習以外の時間ではチーム全員がかなり仲は良く、チームの雰囲気としても最高のチームだと自信を持って言えます。

このように、私たち大阪教育大学柔道部はチーム全員がしっかりと協力し合い、また、顧問やOB、OGの方々からの多くの支えがあり、毎日部活に励むことができています。柔道だけ頑張ればいいという思いではなく、普段の授業や私生活でも大阪教育大学の柔道部という意識を持って生活すること、また、顧問教員からの、いくら柔道を頑張っても、そういうところでポロが出るような人間は、試合では絶対に勝てないという指導を日々心がけてしっかりとした生活を送るように、そこが少しでも乱れている生徒がいたら、部員全員で声を掛け合っています。こういったように「人間力」でも他大学に負けなようにこれからも数多くの方から応援されるチームを目指して頑張っていきます。

応援よろしくをお願いします!!

柔道部に入りたい生徒はもちろん、マネージャーなども募集していますので、柔道に触れてみたい、柔道ってかっこいいと思ってくれる人がいたら是非、大阪教育大学柔道部のInstagramのアカウントにメッセージ下さい！
柔道部全員で待ってます！



DAIKYOU.JUDO

Instagram

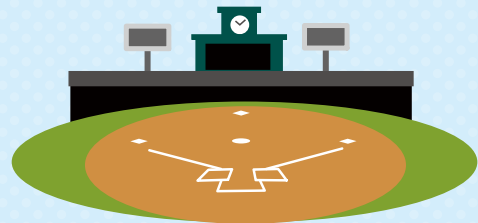
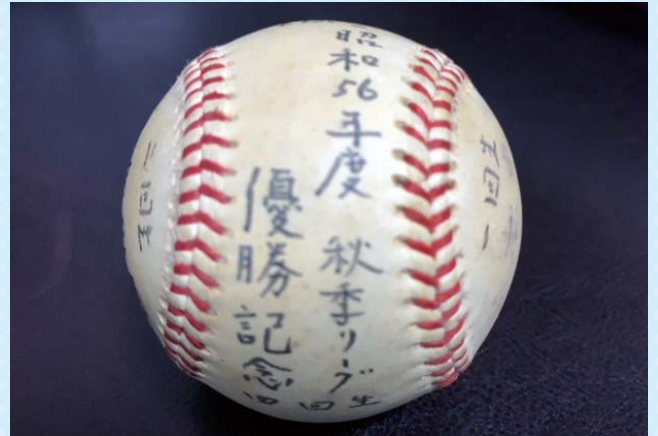


卒業生の活動

「球友会」は永遠に

球友会会長 森本 義範(昭和57年卒)

硬式野球部のOB組織「球友会」は、古くは師範学校から令和の現在に至るまで同じ白球に夢のせて汗した仲間の集まりである。時代によりリーグでの位置づけや成績は異なるが、どの時代もみんなが思いをひとつにしてグラウンドを駆け回ったものである。そんな仲間が年齢の枠にとらわれず、現役生への激励の意味も含めて毎年2月に総会を開催してきた。しかしながら、令和に時代が移行してまもなく、新型コロナウイルス感染拡大の影響で2年ほど総会の開催が見送られてきた。総会はOBだけではなく、現役生全員が参加し、主将からリーグ戦に向けた決意や現状報告、球友会から援助金・記念品の贈呈などが行われる。その後の懇親会では現役生がOBの各テーブルを回ったり、年代別に近況報告や激励の言葉があったりと大いに盛り上がる。OBの中にはNHKで高校野球の解説をされている方や、高校で野球部の監督をされている方も何名かおられ、現役生にとっては参考となることも多く、大変意義深い会となっている。今のコロナ禍が早く解消され、これまでのように総会を通じて現役とOB、またOB同士の活気ある交流が再開されることを切に望んでいる。



一生フットボーラー！

アメリカンフットボール部OB 野々村 礼二(昭和60年卒)

我らが大阪教育大学アメリカンフットボール部は1975年に創部され、今年47年目を迎えます。

卒業生の多くは大学在学中の4年間の経験を活かして、社会人でもアメリカンフットボールを続けています。昭和の時代には、関西のプライベートフットボールリーグであるリパティリーグに所属し、「キャメルズ」というチーム名で活躍しました。平成に入ると、関西社会人の2部リーグに移籍し、ここでは大阪教育大学出身だけでなく他の大学の卒業生も加えて出場していました。現在では、単独のチームではなく社会人Xリーグの多くのチームに分かれて若手OBが活躍しています。

大学の第1期黄金期は1985年です。春シーズンはトーナメント戦で全勝し、社会人NACLと激戦を繰り広げました。秋の公式リーグ戦でも全勝し、1部との入れ替え戦で惜しくも同志社大に敗れました。

第2期黄金期は2012年シーズンです。1部との入れ替え戦で同志社大に雪辱を果たし、見事昇格しました。当時の長尾学長もスタンドで声援し大いに喜んでおられました。

現役の学生が1部リーグで活躍し、若手OBが社会人でも活躍し始めた頃、中高年層のOB・OGによるフラッグフットボール部も、活動を開始しました。

2015年からはHUDDLE BOWL(ハドルボウル)に連続出場しています。レギュラーカテゴリは35歳以上、シニアカテゴリは45歳以上が対象ですが、還暦を過ぎたOBも元気に参加し、フットボールを同窓生と共に楽しんでいます。

「1度フットボールをやったら、一生フットボーラー」



エキスポフラッシュフィールドで開催された「HUDDLE BOWL」に出場する大阪教育大OBOGチーム

第6回大阪教育大学ホームカミングデー in ONLINE



初めての試みとして第6回大阪教育大学ホームカミングデーを2021年11月1日(月)～12月25日(土)までオンライン形式で開催いたしました。同窓生・学生・教職員・一般の方など1,203名の方からのアクセスがありました。また、開催終了後のアンケートには83名の方から回答をいただきました。

特設サイトでは、島内武会長(同窓会天遊会会長)、栗林澄夫学長(大阪教育大学学長)による挨拶や放送研究会の学生によるオープニング、フィギュアスケート部の部員によるキャンパスツアー、なつかしの大教大・今の大教大、学生演舞や学生企画など様々なコンテンツをオンデマンド形式で配信しました。

フィギュアスケート部の部員による「柏原キャンパスツアー」では、現在の柏原キャンパスの様子を紹介し、学生演舞では元気ある学生の様子をご覧いただきました。

「なつかしの大教大・今の大教大」では、以前の天王寺分校・池田分



校・平野分校の写真をご覧いただき、なつかしんでいただくとともに、今の柏原キャンパス・天王寺キャンパスの様子や学生たちの活躍をご覧いただきました。視聴者のみなさまからは「懐かしい気持ちと学生時代を思い出し初心を忘れずに頑張ろうという気持ちになりました。」「大学の時代にタイムスリップできました。」など嬉しいお言葉をたくさんいただきました。

さらに、学生広報(通称DKP)の学生が企画した、『『想い』にまっすぐ』では、本学の学生や教職員(本学卒業生)が、今『まっすぐ』に頑張っていること、頑張りたいと思っている『想い』をお届けしました。

国内は、西日本を中心に37都道府県から、そして海外は12か国からアクセスがあり、大盛況のうちに終了しました。2022年度もオンラインでホームカミングデーを開催します。みなさまのアクセスをお待ちしています。

オープニング

ホームカミングデー in Onlineについて紹介します。
ナレーションを務めるのは、大阪教育大学放送研究会の学生2名です。



オープニング

学園歌

混声合唱団が大阪教育大学の学園歌を歌います。



学園歌

番外編

第6回 大阪教育大学 ホームカミングデー in ONLINE

メイキング写真集～収録の様子～ 猛暑の中での撮影となりました。



ナレーション収録
スタジオで収録しました

キャンパスツアー

現在の柏原キャンパス・天王寺キャンパスの様子をご紹介します。
柏原キャンパスはフィギュアスケート部の3名がご案内します。



柏原キャンパス



天王寺キャンパス

学生パフォーマンス

クラブ・サークルのパフォーマンスをご覧ください。



新選組 旗本退屈しやうばちよーでーエイサー舞
小・中学校、高校、福祉施設、地域のお祭り、イベントなど幅広く活躍。



愛知は「ROCK (コール)」。
山の上のキャンパスで、日々歌声を聴かれています。



剣道部
令和3年度のスローガンは「精神力一心」！
剣道部の頑張りを応援。



男子サッカー部
「チームワーク」「おっちゃん大歓迎」をスローガンに、
関西学生リーグと部員メインの山形に向けて奮闘。



天遊会会員特典

長野県白馬村の「遠見山の家」を 学生料金と同額で利用できます！

長野県北安曇郡白馬村にある本学課外教育施設「遠見山の家」。夏は白馬岳への登山口として、冬は白馬五竜スキー場を背景にした魅力一杯の地です。大自然に囲まれており、春や秋のレクリエーションにも最適の場所です。

同窓会天遊会会員の方は、「遠見山の家」を学生料金と同額（一般卒業生の半額）で利用できます。

申込方法

使用日の7日前までに大阪教育大学学生支援課課外活動係へ使用願書兼許可書を提出し、3日前までに使用料を納入してください。詳しくは大阪教育大学HPをご覧ください。課外活動係にご連絡ください。

○大阪教育大学HP: <http://osaka-kyoiku.ac.jp/>
(大学のトップページから、「学生生活」→「遠見山の家」とお進みください。)

○大阪教育大学学生支援課課外活動係
(TEL)072-978-3310(平日9時～17時)



◆山の家使用料(1人1泊)

	夏期(5/1～9/30)	冬期(10/1～4/30)	駐車場使用料(1台1泊)
同窓会天遊会 会員	820円	1,070円	110円

※現在は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため利用停止しています。再開の際には、ホームページでお知らせします。

★VISAゴールドカードを 特別割引年会費で利用できます。

通常年会費「11,000円(税込)」を「2,750円(税込)」で、継続的にご利用いただけます。天遊会は「三井住友トラストVISAゴールドカード」と業務提携契約を締結しており、天遊会の会員の方がゴールドカードを特別割引年会費で利用できます。

★日産レンタカーを天遊会の会員特別料金で利用できます。

免責補償に加入した基本料金が、通常より約20%～50%OFFでご利用いただけます。(ご注意)日産レンタカーの店舗へ直接お申込みいただいても会員特別料金は適用されません。事前に天遊会にご連絡ください。詳しくは天遊会HPの「会員特典」をご覧ください。(http://www.oku-tenyukai.jp/privilege/)

★年1回、天遊会の会報誌「窓友」をお届けします。

★ホームカミングデーや講演会など、天遊会が企画・共催する イベントの案内を配信します。

その他、会員特典を随時追加しています。最新の情報は、天遊会HPでご確認ください。

天遊会HP: <https://www.oku-tenyukai.jp/>

天遊会

検索

大阪教育大学同窓会天遊会 寄附者芳名録 2021年4月1日～2022年3月31日

【ご芳名】(五十音順)(敬称略)

青木 正美(1968)	梅田 宏子(1965)	加藤 忠明(1962)	斉藤 薫(1975)	田中 紀子(1962)	名村 美彌子(1965)	広瀬 令彦(1957)	三津木 和子(1974)	山野 雄祐(2015)
赤崎 節子(1972)	江田 英次(1958)	金田 順子(1980)	櫻間 圭子(1989)	田中 好江(1973)	成富 昭義(1954)	深草 千春(1976)	南方 誠(1977)	由上 勇(1968)
赤松 美壽津(1953)	大久保 美智子(2003)	川崎 千加(2003)	笹川 邦夫(1959)	田中 一郎(1981)	西 優一郎(2020)	福本 絢枝(1958)	宮城 喜美代(1976)	雪本 修子(1962)
秋山 峰一(1966)	大澤 政徳(1962)	川田 圭太(2008)	笹川 和代(1968)	月岡 照野(1960)	西尾 泰子(1988)	福本 典子(1980)	宮前 孝雄(1972)	湯口 清(1962)
朝日 和子(1962)	大西 夏織(1994)	河田 慈人(2011)	重元 貴久子(1991)	辻 一馬(1956)	西田 欽五郎(1953)	藤村 博文(1960)	六車 陽一(1999)	吉田 三太(2003)
石井 莊治(1957)	大丸 惣一(1969)	菅 謹中(1992)	柴田 鈴子(1958)	辻井 久子(1962)	西田 美香子(1988)	藤本 敏史(1989)	森 健(1984)	吉原 淳一(1965)
石田 晶大(1973)	岡崎 延之(1959)	岸本 恭子(1980)	島内 武(1968)	辻本 靖子(1959)	能登 康宏(1965)	筆野 元(2012)	森崎 麻里(1984)	吉本 眞智子(1961)
石原 祥子(1957)	岡崎 建夫(1962)	木谷 晋司(1962)	白井 邦彦(1966)	津田 喜久代(1957)	秦 博文(1970)	船井 紀(1963)	森本 雅子(1973)	米沢 恵子(2010)
石山 成之(1993)	岡崎 由佳(1987)	木下 新二(1962)	新保 雅子(1992)	寺田 友子(1966)	羽端 長之(1991)	古田 豊子(1972)	安田 誠(2014)	米村 家栄子(1954)
市橋 美恵子(1965)	岡野 久雄(1974)	國政 壬奈子(1963)	菅田 公子(1969)	徳永 幸男(1990)	濱崎 徹(2004)	堀 祥枝(1964)	矢野 正文(1965)	呼元 信介(1975)
伊藤 健治(1969)	岡林 裕修(1974)	国吉 勝己(1961)	鈴木 朱理(2004)	富澤 洋夫(1956)	濱田 環(1978)	前田 都陽子(1976)	矢野 勝久(1993)	若山 英雄(1965)
乾 龍介(1969)	奥田 稔(1977)	黒川 万佐子(1961)	鈴木 暁史(1997)	豊田 真千子(1977)	濱田 正代(1998)	間嶋 節夫(1991)	数田 修一(1966)	脇山 耕佐(1958)
井上 清(1967)	小口 百子(1956)	黒田 美子(1970)	副島 佳子(1994)	中尾 武志(1968)	速水 利真(1988)	町田 妃路子(2004)	山岸 俊紀(1964)	和田 秀昭(2009)
井上 尉子(1973)	奥野 洋子(1965)	黒田 理恵子(1974)	武市 圭子(2005)	長尾 敏一(1993)	原 真弓(1974)	松田 真栄(1955)	山口 成幸(1972)	渡邊 秀聡(2019)
井上 敏宏(1992)	長 実(1961)	桑原 一徳(1998)	武内 紀一郎(1959)	中津 愛子(1987)	韓 秀根(2000)	松田 よしこ(1971)	山口 健太(2006)	
井上 博之(1973)	垣田 稔(1970)	源中 良明(2011)	武内 操子(1960)	中塚 賢(1985)	東 佐久良(1986)	松田 真理子(1994)	山口 良治(1994)	
岩田 崇子(1992)	葛西 潤(2012)	小坂 優子(1997)	竹中 順三(1960)	中村 方子(1970)	平井 潤次郎(1987)	松本 慎一(1992)	山田 恵(2014)	
上野 通子(1985)	片田 翔也(2018)	小島 美穂(1988)	竹本 封由之進(1979)	撫坂 博史(1967)	廣兼 貴美子(1965)	水谷 翔太(2013)	山根 敏彦(1970)	

ご芳名の公表を希望されない方につきましては、掲載しておりません。()内は最終卒業年を示しています。

卒業生・修了生アンケートにご協力をお願いします！

昨年度、大阪教育大学の学部・大学院・専攻科を卒業または修了後、1年・2年・3年・4年・5年・10年・20年・30年を経過された方にアンケートを実施しました。

アンケートにご協力いただいた方のうち、抽選で100名様に同窓会天遊会特製「大阪教育大学オリジナルUSB」をプレゼントさせていただきました。アンケートにご協力いただいた皆様、ありがとうございました。

今年度も卒業生・修了生アンケートを実施します。アンケートを受け取られた卒業生の皆様は、是非ご協力をお願いいたします。



令和3年度 天遊会 事業報告 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

月	事業
4月	令和3年度新入生に天遊会会報誌「窓友」第5号を配布 令和3年度新入生に入学記念品をプレゼント
6月	第1回役員会・総会 大教生応援プロジェクト～食の支援～(1回目)実施
7月	教員同窓会「天遊」活動への支援
10月	天遊会会報誌「窓友」第6号発行 大学基金へ寄附 大学実施「大阪教育大学卒業生アンケート」の返信用封筒の郵送費を負担 「大阪教育大学卒業生アンケート」回答者の内100名に同窓会グッズプレゼント
11月	第6回大阪教育大学オンラインホームカミングデー開催(11/1～12/25) ホームカミングデーアンケート回答者へ同窓会グッズプレゼント 大阪教育大学大学祭「神霜祭」行事への支援 大教生応援プロジェクト～食の支援～(2回目)実施
3月	在校生への支援(学位記・修了証書授与式の手提げ袋の作成) 令和3年度卒業生に天遊会会報誌「窓友」第6号を配布 令和3年度卒業生へ卒業記念品をプレゼント

天遊会役員名簿

会 長	島内 武 S43/3	教員養成/小・生物
副会長	乾 龍介 S44/3	教員養成/小・数学
	齋藤 健三 S43/3	教員養成/小・生物
	渡辺 重之 S44/3	特音・音楽
評議員	篠原 洋子 S50/3	教員養成/小・保健体育
	高田 奈津子 院H6/3	音楽(H4/3 中・音楽)
	立川 優 H7/3	教養/欧英
	間崎 学 S53/3	教員養成/中・美術
理 事	奥村 孝二 S50/3	教員養成/小・心理
	森 健 S59/3	教員養成/中・数学
理事(会計)	竹島 園枝 S50/3	教員養成/小・代数
	田中 達 院S50/3	生物(S48/3 教員養成/小・生物)
監 事	井上 博之 院S48/3	化学(S46/3 教員養成/特理・化学)
	馬場 広之 H7/3	教養/情報

任期:令和3(2021)年4月1日～令和5(2023)年3月31日

天遊会顧問

役職(大阪教育大学)	氏 名
学 長	岡本 幾子
理事(教育・研究・危機管理担当)・副学長	廣木 義久
理事(学生支援・入試・広報戦略担当)・副学長	片桐 昌直
理事(附属学校・評価・IR・地域連携担当)・副学長	広谷 博史
附属図書館長・副学長	赤木 登代
事務局長・副学長	宮崎 孝
初等教育課程長	裴 光雄
教員養成課程長	土山 和久
教育協働学科長	町頭 義朗
大学院教育学研究科主任	出相 泰裕
大学院連合教職実践研究科主任	峯 明秀
学務部長	中西 敏彦
広報室長(総務部総務課長)	石井 裕和
学生支援課長	南山 和弘

「窓友」第6号(前号)の訂正

5ページ「卒業生の活動」の混声合唱団の記事中、ブラームスの「緑の森よ」とあるのは、メンデルスゾーンの「緑の森よ」でした。お詫びして、訂正いたします。

令和3年度天遊会 決算報告 (令和3年4月1日～令和4年3月31日)

一般会計

(単位:円)

	科 目	収入実績額
【収入の部】	繰越金	24,288,198
	会費収入	33,630,000
	寄附金・協力金収入	1,680,000
	事業収入	73,997
	その他収入	232
	合 計	59,672,427

	科 目	支出額
【支出の部】	事業費	10,779,046
	寄附金(大阪教育大学基金)	100,000
	学生会員支援費	3,331,724
	会報費	4,738,931
	寄附金(会員名簿管理システム費等)	800,000
	ホームカミングデー費	971,991
	支部支援費	136,400
	校友会年会費	100,000
	終身会費収入返金	600,000
	管理費(事務局経費)	2,672,968
	寄附金(事務局業務委託費)	2,200,000
	広報費	290,730
	事務費	61,781
	振込手数料	12,562
	コンビニ収納手数料	47,250
	ゆうちょ口座振込手数料	30,021
	ネットバンキング手数料	21,120
	通信費	9,504
	特別会計繰入(※)	15,000,000
	特別会計臨時積立金	15,000,000
	合 計	43,452,014

収入の部合計	59,672,427
支出の部合計	43,452,014
差引残高	16,220,413

特別会計(※)同窓会館設立積立金へ繰入
差引残高16,220,413 円は令和4年度へ繰越



令和4年度総会報告

令和4年6月25日(土)天王寺キャンパスで令和4年度天遊会総会を開催しました。新型コロナウイルス感染防止対策を講じた上で3年ぶりの開催となりました。総会では以下の事項が審議され、すべて承認されました。

- (1)「大阪教育大学同窓会天遊会会費規程」一部改正について
- (2)令和3年度天遊会事業報告及び決算報告について
- (3)令和4年度天遊会事業計画及び予算案について
- (4)令和4年度ホームカミングデーの実施について
- (5)会報誌「窓友Vol.7」の発行について

同窓生名簿管理システムをご利用いただけます！ ご登録情報の確認をお願いします！

同窓生名簿管理システムでご自身の登録情報の確認と変更、同窓生の情報の検索・閲覧をすることができます。

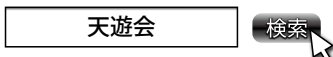
また、転居・改姓された際にも同窓生名簿システムより登録ができます。(従来通りのFAX、電話、メールでも受付しております。)

会員専用WEBサービスご利用の手引きをご覧になって、ぜひご利用くださいますようお願いいたします。

※ブラウザ(Google Chrome,Firefox,Microsoft Edge)のバージョンが古い場合は正常に機能しない場合がありますのでなるべく最新バージョンでご利用ください。

大阪教育大学同窓会 天遊会 会員専用Webサービスご利用の手引き

<https://www.oku-tenyukai.jp/>



画面右下

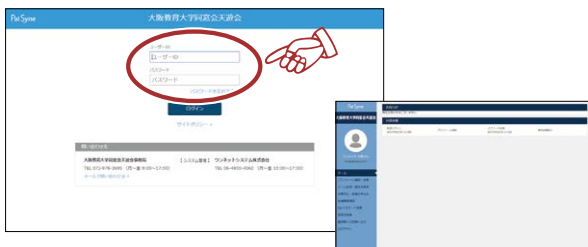
- 1 「天遊会会員専用Webサービス」をクリックしてください。



クリック!!

- 2 「会員ID／パスワード」を入力後、ログインをクリックしてください。

初回ログイン時には、メールアドレスと生年月日の登録が必要になります。



- ✓ ログイン後、会員ID／パスワードは自由に変更できます。
- ✓ 万一、変更したパスワードを忘れてしまった場合は、ログイン画面「パスワードを忘れた方」から再発行する事ができます。
- ✓ セキュリティはシステム管理者にて充分に守られますが、各会員におかれましても、ご自身のID／パスワードは確実に保管していただきますようお願いいたします。

- 3 会員専用サイトでは主に以下のような機能があります。

- ✓ ご自身の登録情報の確認と変更
- ✓ 同窓生の検索・閲覧 (WEB版同窓会名簿)
同窓生の情報のうち、公開可とされたものを検索・閲覧することができます。

- 4 ご自身の登録情報の確認と変更



- 住所、勤務先などの情報はご自身でご変更いただけますようお願いいたします。
- 登録情報を会員にどの程度公開して良いか、ご自分で設定してください。「全会員に公開」「同系同年卒にのみ公開」「非公開」の設定ができます。



編集画面

- 5 WEB版同窓会名簿の閲覧

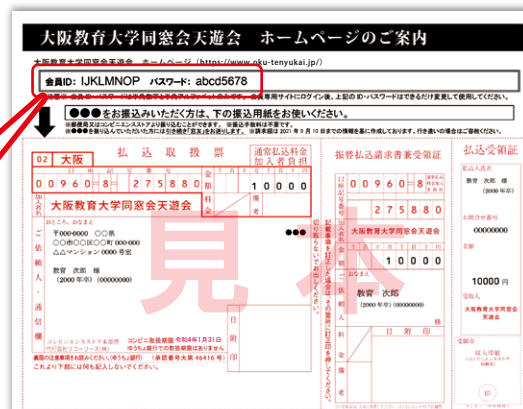
卒業・修了年、氏名、住所、勤務先、利用しているSNSを検索し、本人が公開を許可した情報を閲覧できます。



※振込用紙上部に初回ログイン用の
会員ID、パスワードが記載されています。

会員ID: IJKLMNOP パスワード: abcd5678

※注意※ 会員ID・パスワードは半角数字と半角アルファベットのみです。会員名



第7回 大阪教育大学 ホームカミングデー2022 ONLINE

オンライン
開催



申込不要

どなたでもご参加
いただけます

HOME
COMING
DAY 2022
online

11/1
tue
10:00

12/26
mon
17:00



毎年、卒業生の皆様をキャンパスにお迎えし、懐かしい日々を思い出しながら仲間と再会し
交流・親睦を深めていただくホームカミングデー。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からキャンパス内での開催を中止し、
オンラインにて開催することとなりました。

様々な企画を動画形式でご用意しておりますのでぜひご参加ください。

公開
期間

令和4年 11月1日(火)～12月26日(月)

第7回 大阪教育大学ホームカミングデー2022 ONLINE

ホームカミングデー特設サイト

<https://www.oku-tenyukai-hcd2022.com>



QRコードから
アクセスできます。

プログラム

- オープニング オークストラ演奏
- 代表者からのメッセージ
- フラッグシップ大学について
- なつかしの大教大・今の大教大
- キャンパスツアー(天王寺キャンパス・柏原キャンパス)

- 学生サポートスタッフの活動現場へ潜入!
- 教師の魅力プロジェクト「教師冥利に尽きるエッセイ」
- クラブ活動の様子
- イベントムービー

アンケートにご協力いただいた方に抽選で天遊会オリジナルグッズプレゼント!



大阪教育大学同窓会天遊会会報 第7号 2022年10月発行

編集・発行 大阪教育大学同窓会天遊会事務局 〒582-8582 大阪府柏原市旭ヶ丘4-698-1 大阪教育大学同窓生連携室 大学会館1階 共通事務室内
TEL:072-978-3695(平日9時～16時) FAX:072-978-3980 HP:<https://www.oku-tenyukai.jp/>